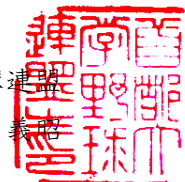


2020年5月23日

2020年度首都大学野球春季リーグ戦の中止について

首都大学野球連盟
会長 松前 義昭



この度の、日本をはじめ世界に猛威を振るっている「新型コロナウイルス感染症」により、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、全国の医療現場において治療等にご尽力をされている医療関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

さて、首都大学野球連盟では2020年度春季リーグ戦開催に当たり、連盟ホームページ上で新型コロナウイルス感染症の当連盟の対応につきましてご報告申し上げてまいりました。当連盟の委員会におきましては、政府および専門家会議の見解、上部団体であります全日本大学野球連盟からのガイドライン、全日本大学野球連盟所属の26連盟の動向、本連盟所属各大学の授業状況、課外活動状況等を鑑み、運営検討委員会ならびに常務理事会で多くの資料を基に、多角的な視点より議論し、開催を模索してまいりました。しかしながら、まん延が徐々に収束方向に向かっているようですが、予断を許せない状況であります。政府も緊急事態措置を、当初予定しておりました5月6日を5月31日まで延長すること、14日には専門家会議の分析により、緊急事態措置を継続すべき区域を8都道府県に決め、さらに21日には関東1都3県と北海道を引き続き継続とすることを発信しました。このような状況の中、5月22日に当連盟の運営検討委員会、23日に常務理事会をインターネット使用しオンライン会議を開催いたしました。

その結果、開催にあたっての基本方針でありました「加盟16大学の選手、指導スタッフ、大会に係る役員等の生命の安全と健康」を最優先に考え、断腸の思いではありますが中止することを決定いたしました。

1964年に連盟が創設され今年で56年目となり、この春季リーグ戦が第112回目の開催でありましたが、初めての中止であり、非常に残念であります。

今後の秋季リーグ戦を含めました事業につきましては、決定したいホームページでお知らせいたしますので、今後ともよろしくご声援を賜りますようお願い申し上げます。